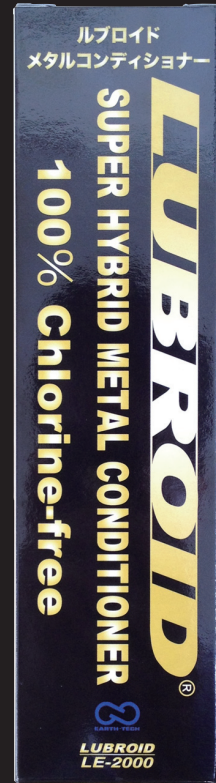


New Goods  
インプレッション



# 愛車のコンディション維持に最適

塩素フリーで不安なく使える

愛車のコンディションを維持し続けるのはなかなか難しい。何万kmも走行していると、いつの間にか振動や騒音が大きくなり、パワーもロスしてしまふ。原因はエンジン内部のフリクション増大や各部の摩擦などさまざま。できれば新車の状態を維持したいと多くのドライバーが思っているはずだ。今回紹介する「ルブロイド」は、そんなドライバーのさまざまな願いをかなえてくれるオイル添加剤である。

ルブロイドは、塩素フリーの金属表面改質強化剤だ。従来のすべてのオイル添加剤を超える性能が与えら

れている、のだという。しかも、塩素をまったく含まないため、ゴムや樹脂部品、パッキンなどへの攻撃性はゼロ。性能だけでなく、安全性も高いのだ。

さて、こういうものは実際に使ってみなければ効果はわからない。そこで愛車のVW up!に投入、通勤や取材の足に500km程度走ってみた。即効性はあまりないとのことだったが、走り出して少しすると振動が少なくなり、エンジン音が軽くなっているのに気がついた。アクセルを踏んだときのフィーリングもスムーズさを増したようだ。信号待ちのときに感じていたシートやステアリングからの微振動も減少し、「工

ンジンがかかっている？」と、ついタコメーターを確認してしまった。

もともとup!の1.0L3気筒は静かだったが、もう3万kmを超えているため、新車時よりも少し音や震えが出ていた。ルブロイドを入れると、症状がだいぶ解消され、新車当時のイキのよさが戻ってきたようだ。

燃費はまだ計測していないが、オンボードの燃費計を見ると、入れ前よりも多少数値がいいようだ。少なくとも、悪影響はまったくない。

世界トップレベルの低摩擦係数と、塩素フリーながら塩素系を超える保護性能を誇るルブロイド。いつまでも元気の愛車とカーライフを楽しみたい人にオススメだ。

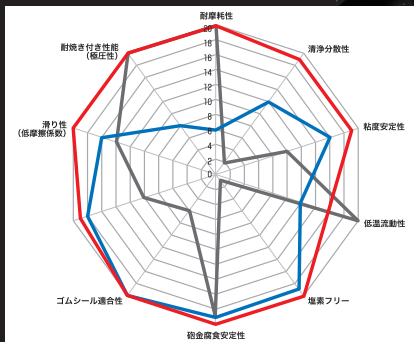
LE-2500 (120ml入りボトル) : 4104円

LE-2000 (240ml入りボトル) : 7128円



●走り出すと、エンジンの回転がスムーズになった感触。走行距離3万kmを超えて少し気になっていた振動や音も改善されたようだ

●ルブロイドは、エンジンオイル量の5~6% (0-W20以下の低粘度オイルには3~4%)が適量。奥まったところにあるオイルフィーラーでも注ぎやすいノズルになっている



●他製品との比較では、耐摩耗性能や耐焼き付き性能、低摩擦係数などが優れているのがわかる。塩素系の製品と比べても、樹脂部品への攻撃性の少なさや清浄分散性の高さは圧倒的だ

	ルブロイド	A社	塩素系M社
耐摩耗性	20	6	20
清浄分散性	19	12	2
粘度安定性	19	16	10
低温流動性	16	12	20
塩素フリー	20	19	1
砲金腐食安定性	20	19	19
ゴムシール適合性	20	20	6
熱酸化安定性	19	18	10
滑り性 (低摩擦係数)	20	16	14
耐焼き付き性能 (極圧性)	20	8	20

## Earth-Tech LUBROID SUPER HYBRID METAL COMDITIONER

アーステック ルブロイド  
スーパーハイブリッドメタルコンディショナー

フリクション低減によりさまざまな効果を発揮するルブロイド。塩素フリーでエンジンに優しいのも特徴だ。でも、ホントに効果があるのか？

©アーステック ☎0551-38-1438 <http://lubroid.com>